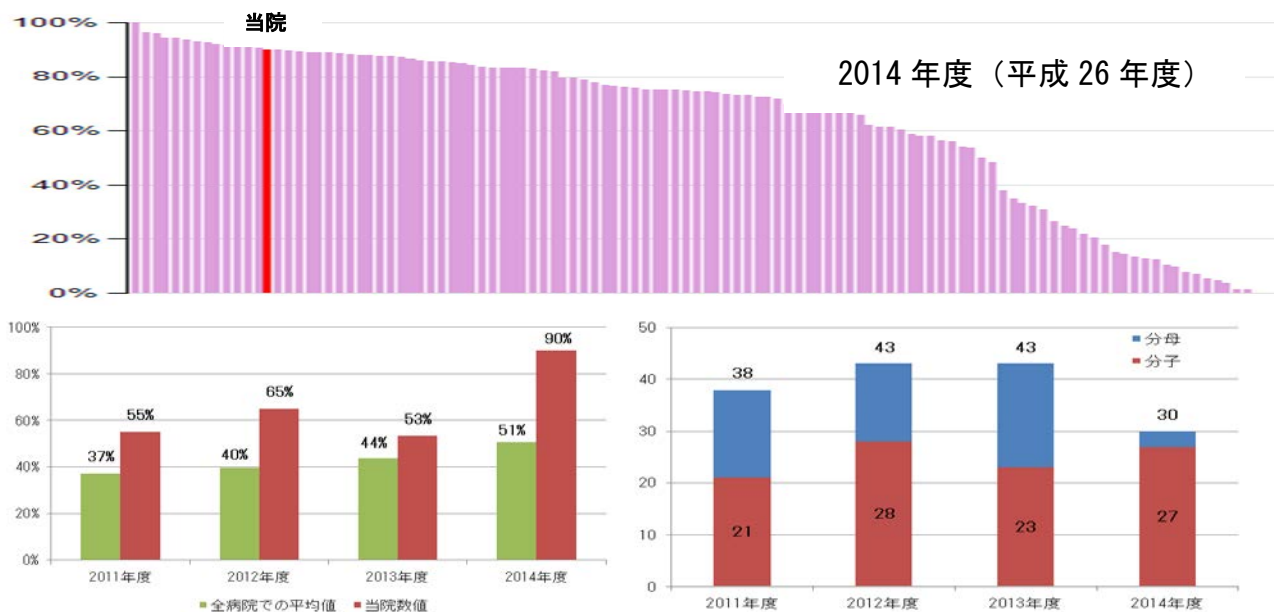


# 診療情報管理委員会ニュース

(臨床指標報告)

VOL. 17 2015年8月 診療情報管理委員会

## 【急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)患者に対する心臓リハビリ実施割合】



※QIP指標(DPCデータ使用)

【分子】分母のうち、心臓リハビリが実施された症例数

【分母】急性心筋梗塞(再発性心筋梗塞含む)で入院した症例数

(入院時契機病名、主病名、医療資源投与病名のいずれかの病名コードがI21\$, I22\$の症例)

※分母除外項目※ ①入院時年齢18歳未満、②在院日数90日以上、③治験症例

### 【意義】

●「心臓リハビリ」とは、心疾患により低下した体力を回復し、どの程度運動しても大丈夫なのか評価をすることで社会復帰・職場復帰に向け自身をつける為、さらに、心疾患の再発予防と日常生活を快適に行う為に運動療法や生活指導などを行います。

### 【結果・考察】

●2014年度数値を他施設と比較すると、90%と上位に位置していることが分かります。また、経年的に数値を見ると2014年度は分母が少なく割合としては高く表示されていますが、QIPに参加している他施設と比較すると過去データ全てが平均値を上回っており、当院の強みであると言えるものだと思います。

●当院では、2011年4月に京都市内民間病院では4施設目となる心大血管疾患リハビリテーション(1)施設基準を取得、2013年4月より心臓リハビリテーション外来も開設し、急性期から慢性期まで積極的なリハビリを実施しています。